

経営比較分析表（令和6年度決算）

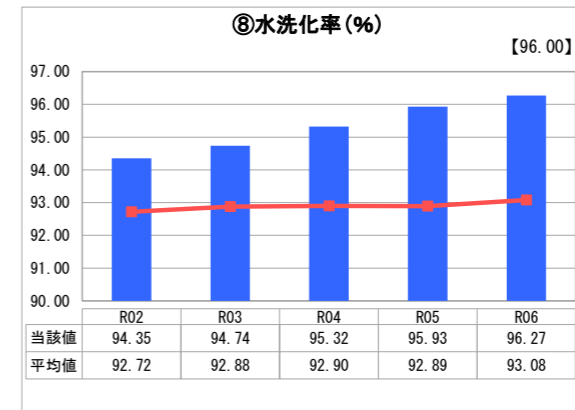
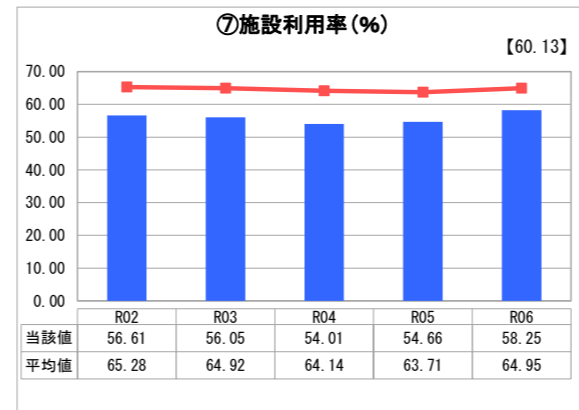
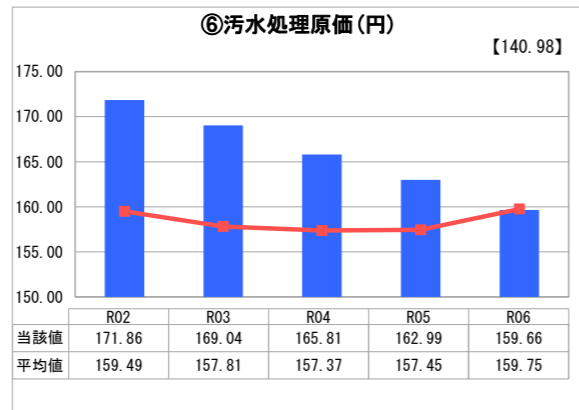
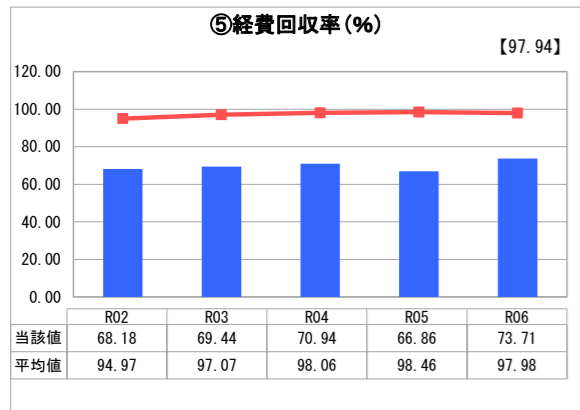
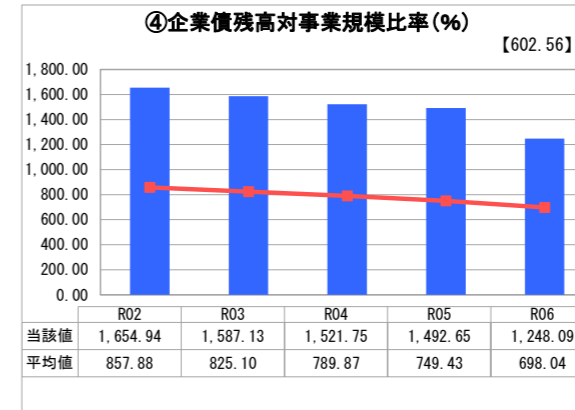
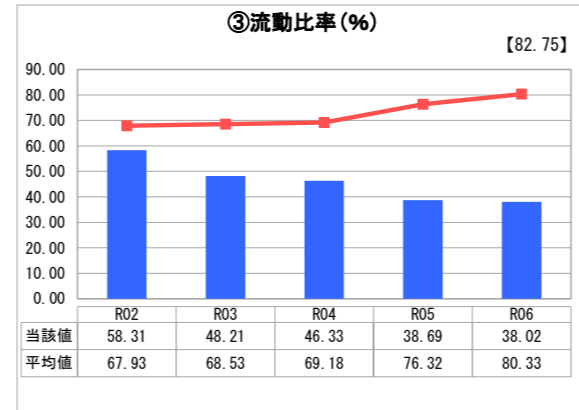
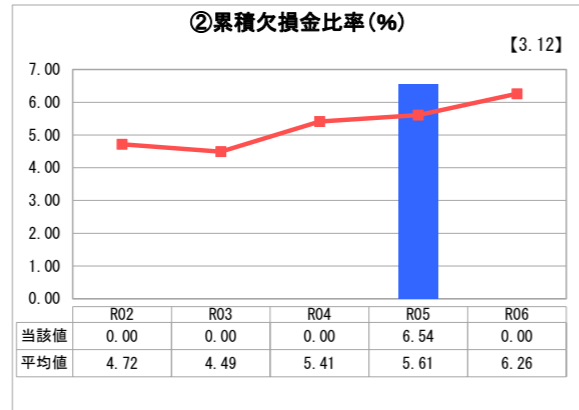
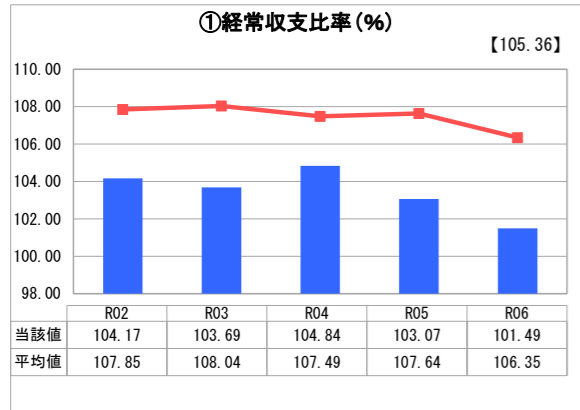
石川県 かほく市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.94	88.17	82.09	2,442

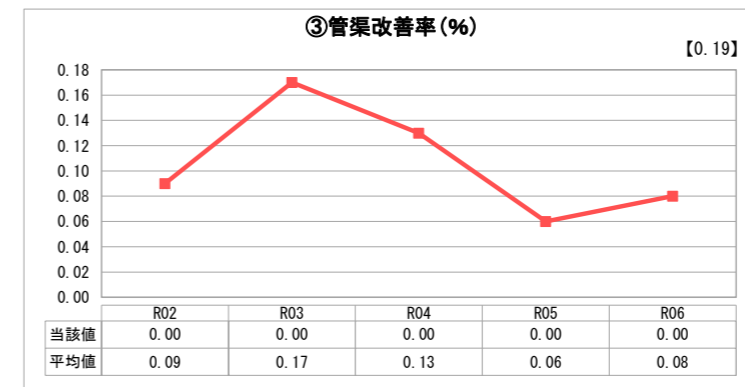
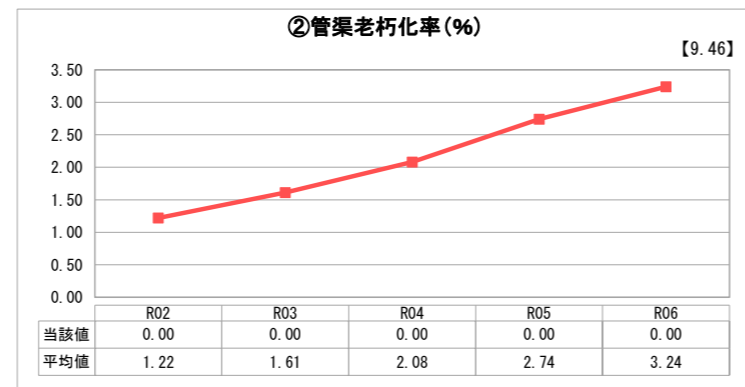
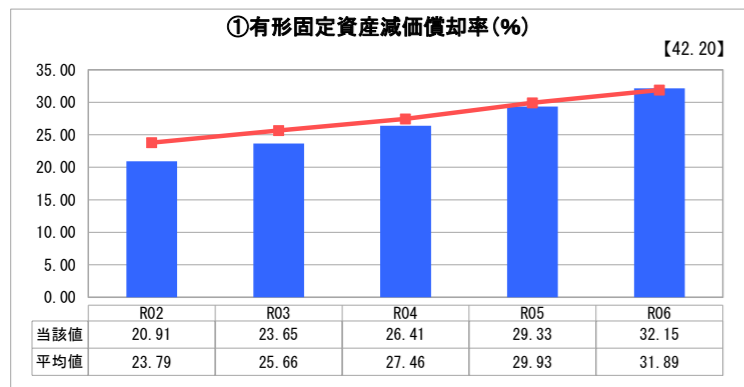
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,200	64.44	561.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
31,945	14.19	2,251.23

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は黒字を示す100%を超えているが、収入については一般会計からの繰入金に依存しており、営業収支は赤字となっている。流動比率についても100%を下回り、類似団体平均値よりも低い。経費回収率は73.71%であり、使用料で回収すべき経費を使用料で賄えていない状況である。また企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値よりも高く、投資規模に対し使用料収入が少ないことが原因である。使用料については令和8年度に改定を予定しており、経営状況の改善を目指していく。

2. 老朽化の状況について

管渠については、現在のところ耐用年数を超過したものは少ないが、カメラ調査による診断などを行い適正管理を行っている。施設利用率は58.25%であり類似団体平均値よりも低い状況であるが、今後は統廃合事業を実施し、向上に努めていく。

全体総括

事業経営について、包括的民間委託等により経費削減に努めているが、今後は物価高騰による費用の増加が見込まれる。また使用料収入が低く一般会計からの繰入金に依存している状況である。令和8年度に使用料改定を予定しており、より一層の収入改善及び支出抑制に努めていく。今後は管路や処理場施設及び機械設備の更新経費の増加に伴い、財源の確保が重要となる。ストックマネジメント計画等により施設の統廃合や老朽化対策など投資計画の見直しを行っていく。また災害復旧工事についても、令和12年度完了を目標とし迅速に進めていきたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。